

北海道手をつなぐ育成会 げっぽう

第814号

昭和39年3月13日第三種郵便物認可第10号(毎月1日発行・定価一部10円会費を含む)

●発行日—令和7年(2025年)11月1日

●発行所—札幌市中央区
〒060-0002 札幌市中央区
北2条西7丁目かでの2・7(4F)

電話 011-251-0855

FAX 011-251-0804

Eメール doikusei@air.ocn.ne.jp

●発行人—佐藤春光

印刷所 (株)北海道機関紙印刷所

創立70周年記念 第70回全道大会・第31回本人大会

920名が「誰もが幸せに」の願いを、思い二つに

9月27日(土)、北ガス文化ホール・千歳市民文化センターを会場に、創立70周年記念第70回全道大会および第31回本人大会が開催されました。コロナ禍後続けられてきたオンライン併用の開催から、本人大会分科会を除く全てのプログラムが会場参加で行われました。全道からのアクセスの良い千歳市に、北は名寄市、東は中標津町、南は函館市から、道内各地の関係者が集まりました。

参加者は、育成会大会193名、本人大会271名(分科会107名・チャレンジ24名・思い出観光140名)、ボランティア87名、公開プログラム231名、出演者・要員・実行委員138名の合計920名でした。札幌国際情報高校吹奏楽部の演奏会では、会場を埋めた約900名の聴衆が音楽でつながり合い、一体となって70周年を祝いました。

開会式

佐藤会長の開会のあいさつでは、「育成会が設立された70年前は、特殊学級を設置することにも強い抵抗があった時代だった。今では、特別支援学級が全ての市町村に設置されるまでになっ

た。自治体、保護者、支援者の多くの努力があったからだ。昨年7月に旧優生保護法に基づく強制不妊手術に対して、最高裁が画期的な判決を出した。違憲の旧法下で手術が続けられたことは、国の責任が重大であると断じた。しかし、判決が出るまであまりにも長い年月がかかった。被害にあわれた方の人生は取り戻せない。また、障がい者に対する虐待は今でも報道されている。そして、障がい者入所施設が山奥にあり、ほとんどそこから出ない人たちも数多くいる。裁判で係争中の恵庭市遠藤牧場事件では、何十年にもわたって年金とその人の生活を奪っていたということだ。障がい者が当たり前に生き生きと暮らせる社会、その実現までには、まだまだ時間が必要だろう。どこかに優秀な会員や支援者がいるわけではないと思う。今、この会にお集まりの皆さん方、いま気づいたあなたが、各地域に帰って頑張って、障がい者の自立のために一緒に働いてほしいと思います」と呼びかけました。

ご来賓を代表して、北海道石狩振興局長北山様、千歳市副市長品田様からご祝辞を頂き、来賓のみなさまが紹介されました。

その後、北海道善行賞、北海道知事感謝状、道育成会会長表彰の表彰が行われました。表彰された皆様は次の方々です。



●北海道善行賞(道育成会から推薦分)

●自立活動者

苦米地 徳 子さん(札幌市)

●自立支援功労者

国本 忠 孝さん(白老町)

●道育成会会長表彰

●自立活動者

千葉 春 雄さん(千歳市)

村上 悟さん(江別市)

高橋 秀 治さん(札幌市)

高井 睦さん(伊達市)

村井 正 子さん(白老町)

小川 聖 哉さん(帯広市)

●自立支援功労者

相馬 ミエ子さん(函館市)

竹田 雄 三さん(新ひだか町)

佐藤 深 雪さん(深川市)

山澤 かおりさん(中富良野町)

今野 洋 子さん(豊頃町)

観野 さちこさん(豊頃町)

(2面に続く)



中央情勢報告

開会式に引き続き、全国手をつなぐ育成会連合会 佐々木桃子会長から中央情勢報告が行われました。2025年10月1日から施行される「就労選択支援」について、「入所施設の在り方検討会」の検討状況について、「成年後見制度見直し」についてなど、最新の情勢を報告していただきました。

分科会

6年ぶりに開催された分科会は「意思決定支援、合理的配慮、人権、制度」、「暮らし、防災、避難」、「育成会活動」の3つが行われました。参加者からは、「とても参考になる内容だった」、「地域で取り組みを進めていきたい」、「分科会があると全道大会らしくて、良かった」などの声が聞かれました。詳細は、次号12月号でお伝えします。

記念講演



むかわ町国民健康保険穂別診療所副所長、精神科医・総合診療医の香山リカ氏を講師に迎えて、「すべての人が『生まれてよかった』と思える社会を目指して」を演題に、お話を頂きました。

不便がたくさんあるが、豊かな自然と人間関係のなかでの穂別町での暮らしと、物質的には便利で楽しいことがたくさんあるが、生きていくことがつらいと訴えてくる人がたくさんいる東京とを比較しながら、他者の評価

を気にしたり、世の中の役に立たなければ自分の価値はないと考えたりすることが、生きづらさを生んでいると話されました。また、障がいとは社会の側にある障壁から生じる。社会の側の仕組みが整っていないから、「自分は障がい者だ」と意識させられ、生きづらさを感じる。小さな行動が大きな意味を持つことがあり、自分でできることをするだけで十分で、それ以上のことをしようと思う必要はない。「自分らしさ」とは何であるかを考える必要はなく、人間は意識しなくても、自然と自分らしく生きているものであると話し、人生に良いも悪いも、上も下もない。あるのは自分の人生だけであり、誰にでも自分の人生を楽しむ権利がある。人生が楽しくないと感じるなら、それは本人が悪いのではなく、楽しませない社会に問題があるのかもしれない。「もっと楽しませてくれ」と社会に要求してよいと結びました。

記念演奏会

70周年をお祝いして、札幌国際情報高校吹奏楽部約100名によるダンプレ演奏会が行われました。「ディズニーマドレー」から始まり、「勝手にシンドバッド」では、千歳市手をつなぐ育成会音楽サークル「むなさわぎ隊」とのコラボ演奏で大いに盛り上げました。「YMCA」と最後の曲「島人ぬ宝」では会場と一体になって、大きな感動と若いエネルギーがホールを包みこみました。



本人大会分科会

昨年より1分科会多い、「虐待・権利・人権」、「仕事・暮らし・健康」、「何でも話そう」の3分科会が行われ、オンライン併用で発表、討議が行われました。分科会のあと、全体会で分科会の様子を交流し、災害避難所体験をしました。段ボールベッドやテントを仲間と協力して作るなど、避難所での生活を勉強しました。分科会の詳細は、次号12月号でお伝えします。

チャレンジ

音楽療法士の近藤ひとみさんの伴奏で、歌やダンス、楽器演奏などの音楽体験を行いました。千歳のむなさわぎ隊、高校生ボランティアの皆さんも参加。千歳の地元アイドルユニット「シャオニャン」のミニライブも行われ、大変好評でした。

思い出観光



バス4台に分乗して、サケのふるさと千歳水族館、ビール工場（サッポロビール・キリンビール）、プラネタリウム鑑賞をしました。定員の関係でビール工場見学をできなかった方は、北海道箱根牧場で生キャラメルづくりをしました。

(3面に続く)

閉会式



青木実行委員長



登別 東田会長

実行委員長の青木繁雄千歳市手をつなぐ育成会会長が、大会参加者に感謝を述べた後、大会決議(案)を提案し、満場の拍手で採択されました。その後、本人大会決議を15本人会16名で読み上げました。最後に、次期開催地の登別市手をつなぐ育成会の東田美智子会長が「来年は、湯の町登別でお待ちしております」とご挨拶があり、閉会しました。



懇親会

大会終了後、ANAクラウンプラザホテル千歳で懇親会が行われました。210名を超える皆さんが参加。佐藤会長、品田副市長の挨拶のあと、千歳市社会福祉協議会井上会長のご発声で乾杯。参加者のスピーチや本人会の名刺交換、なよろ陽だまりの会の合唱、「むなさわぎ隊」の演奏など大いに盛り上がり、交流を深めました。最後は、本人大会実行委員長の神田さんの挨拶と会場全員での「花は咲く」の大合唱で締めくくりました。



私たち育成会、ただ今、奮闘中!

地区育成会の活動紹介

その17

NPO法人 函館手をつなぐ親の会 笑顔あふれるビアパーティー

今年もやってきました! 一年に一度、心待ちにしていました。

私たちの会でビアパーティーを始めたきっかけは、子供たちが、もう大人なのに飲んだり、騒いだりする場所がなく、親が連れて行くところといえば、カラオケに家族何人かで行ったり、レストランに行ったりと昼が主になつてしまい、気兼ねなく夜を楽しませてあげたいという気持ちから始まりました。子供たちだけでなく、日ごろからお世話になっている方たちとも楽しく交流したいとの思いから、理解してくれている周りの方たちにも声をかけ、最初は養護学校の先生方と始めました。今では一年に一度の交流の場となり、誰でも参加OK! 食べて飲んでだけではなく、ビンゴゲームあり、生バンド演奏ありのにぎやかなパーティーです。長年、この会で演奏をしてくれているバンドの方は、みんなと一緒に遊んでくれます。

コロナの時は、開催できなかったもので、久々の生バンド演奏に手拍子したり、踊ったり、目いっぱい楽しめました。なかなか生バンドの演奏を聴く機会がないので、迫力のある生演奏は



聴きごたえもあり、みんなノリノリで、見ているこちらまで楽しくなりました。昔懐かし曲が流れて、私も思わずノリノリでダンスしてしまいました。ビンゴゲームも盛り上がりしました。誰が最初に「ビンゴ!」っていうかな? 景品は何か? みんなの笑顔がはじけていました。たくさん食べて飲んで踊って、あつという間の2時間でした。楽しかったね、ぜひまた会いましょう! 思い出を共有でき、笑顔でお別れました。

このビアパーティーは、平成6年からみんなと楽しい時間を過ごしたいと毎年開催してきました。しかし、新型コロナウイルスの蔓延により、ビアパーティーも5年間で中止せざるを得なくなりましたが、昨年より感染対策をしっかりとしながら再開することができました。会員の方や親の高齢化により、出席できない方も増え、前ほど参加者も多くはありませんが、楽しみに参加してくれる方がいる限り続けていきたいと思っています。

(NPO法人 函館手をつなぐ親の会)

会長 相馬 ミエ子

全道大会の協賛・広告に関わるお詫び

9月に開催された全道大会千歳大会の実施要綱に協賛者のお名前、広告の不掲載がありました。紙面を借りて深くお詫びいたします。

12月の予定

8日(月) 第4回理事会
17日(水) 全道連権利擁護セミナー
22日(月) 第2回フック事務局長会議

知的障がい児者・発達障がい児者(自閉症児者を含む)の 生活サポは 家族の安心を支えます

- 日常生活に関する相談支援
 - 就労に関する相談支援
 - 権利擁護に関する相談支援
- の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、
知的障がい児者・発達障がい児者(自閉症児者を含む)のための
病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

生活サポート総合補償制度は…

全国で約15.7万人※のみなさまにご利用いただいている補償制度です。

※2024年11月時点

AIG損保の普通傷害保険

生活サポート総合補償制度

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、
職業従事者事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者

株式会社 ジェイアイシー 北海道支店

〒060-0042 札幌市中央区大通西13丁目4番地102

レジディア大通公園2F

TEL: 011-221-7009 FAX: 011-221-1704

受付時間: 午前9時～午後5時

(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社

AIG損害保険株式会社

<https://www.aig.co.jp/sonpo>

札幌支店

〒060-0003 札幌市中央区北三条西4-1-1 日本生命札幌ビル17F

TEL: 011-204-7510

受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

主な補償内容

病気やケガで入院したとき
入院給付金

※プランによって補償します

賠償責任を負ったとき
個人賠償責任補償

ケガをしたとき
死亡・後遺障害・入院・通院・手術／各保険金
(地震・噴火・津波によるケガも対象)

虐待・逮捕・勾留に対応するとき
弁護士費用等補償

※プランによって補償します

病気で死亡したとき
疾病葬祭費用保険金

※プランによって補償します

就労中に他人にケガをさせたり
物を壊してしまったとき
職業従事者事故対応費用補償

※プランによって補償します

※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

ご入会のお問合せはこちら

北海道知的障害児者生活サポート協会

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かねる2・7 4階

北海道手をつなぐ育成会内

TEL: 011-251-0855 FAX: 011-251-0804

受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

2025年1月現在の内容です。(D-007611 2026-03)

障害のある方向け 総合保険

あ！それうちかと思った方！

入通院の悩み

- ・突然の病気やケガが心配
- ・入院時の出費に備えたい
- ・障害があっても入れる保険を探している

相談しにくい悩み

- ・虐待や差別を受けた
- ・詐欺に遭わないか心配

賠償の悩み

- ・パニックになって他の人にケガをさせてしまったらどうしよう
- ・デイサービスでヘルパーさんのメガネを壊してしまった

みんなの あんしん保険

障害のある方とそご家族へ
少額短期健康総合保険(無告知型) 2019年創設

- ・病気やケガにしっかり備える
- ・告知や障害者手帳は不要
- ・入院日額最高1万円

- ・権利擁護費用補償
- ・総合生活保険(個人賠償責任補償)で賠償責任を補償(国内は東京海上日動の示談交渉サービス付き)

みんなの こども傷害保険

特別支援教育を
必要とされている方へ
権利擁護補償付傷害保険 2019年創設

- ・特別支援教育を必要とされているお子様に
- ・ケガによる入通院を日額保障

- ・権利擁護費用補償
- ・総合生活保険(個人賠償責任補償)で賠償責任を補償(国内は東京海上日動の示談交渉サービス付き)

詳しい資料のご請求・お問い合わせはこちら

24TX-004230(2024年12月作成) 2012-2411R00

取扱代理店(資料請求・その他お問い合わせ)



ぜんち共済株式会社

〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5

関東財務局長(少額短期保険)第14号 九段北325ビル4階

平日10時～16時

土・日・祝日・年末年始を除く

URL: <https://www.z-kyosai.com/>

0120-322-150

※このご案内は、保険の概要についてご紹介したものです。契約にあたっては「ご契約に際しての重要事項」「約款」「東京海上日動の「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合は、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。補償を受けられる方またはその家族が、補償内容が同様の保険契約を他にご契約されているときには、補償が重複することがあります。

有限会社オフィスブレイン

〒060-0032

北海道札幌市中央区北2条東3丁目2番地 札幌セントラルビル2F

TEL: 011-207-2522 FAX: 011-207-2523

『どんな障がいがあっても、地域で普通に暮らしたい』

障がい者の願いを実現することが事業所協議会の
目的です。私たちは、『経営』と『志』の統一を
目指しています。体力のある事業所も体力のない
事業所も助け合います。あなたの事業所の入会を
待っています。

北海道手をつなぐ育成会
事業所協議会

〒060-0002

札幌市中央区北2条西7丁目 かねる2・7(4F)

電話(011)251-0855/FAX(011)251-0804

E-mail: doikusei@air.ocn.ne.jp

★会員事業所紹介★

NPO法人 スワンの家

就労継続支援B型・地域活動支援センター

〒086-0205 野付郡別海町別海常盤町 292-10

TEL&FAX: 0153-75-3881

カフェ営業・パン菓子製造

廃油リサイクルせっけん製造

清掃業務

みんないっしょに
しあわせになろう



できることから
はじめよう

